国保料納付が優良な団体と個人を表彰―＊

市では、さる七月十日、国民健康保険料の納付に優良な成績をあげた五十団体と十人を表彰しました。

当日は、表彰式に続いて取纒組合長会議を開き、国民健康保険のしくみや今年度の国保料精算賦課の内容説明を行い、国保料の完納について一層の協力をお願いしました。

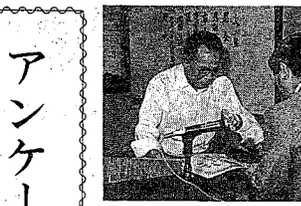
なお、表彰を受けられた団体、個人は次のとおりです。

（敬称略）

□町内…本町2すずらん会、善道婦人会、本町3・1区婦人会、本町3・2区婦人会、本町3母の会、本町4婦人会、新町婦人会、金沢町1婦人会、柄目木婦人会、山谷町1交通安全母の会、南町納税組合、美幸町婦人会、新栄町婦人会、古田婦人会、下興野町納税組合、中沢町婦人会、田家3婦人会、滝谷本町婦人会、東金沢部落会、大安寺納税取纒組合、満願寺婦人会、七日町婦人会、大蔵婦人会、川口婦人部、福島婦人会、四ツ葉会（荻島・こがね町）、三津屋婦人会、長割取纒組合、古津婦人会、金津婦人会、谷町教育振興会（塩谷・割町）、睦見会（朝日）、浦興野青年会、出戸婦人部、大秋婦人部、野方婦人部、大関婦人会、岡田農協婦人部、下新農協婦人部、市新農協婦人部、金屋農協婦人部、新郷屋納税組合

□一部組合…七日町第15組取纒組合、川口納税組合、結納税貯蓄組合、結納税取纒組合、荻島通船組合納税会、浦興野納税組合、中野納税組合、八千代納税貯蓄組合

□個人…石津美千子（金沢町3）、木村ヒサ子（新金沢町）、間キノイ（飯柳）、吉沢玲子（山谷町2）、古川セツ（秋葉1）、樋口幸子（秋葉2）、村田ノブ（草水町3）、拝野スズイ（田島）、柏木モト（覚路津）、阪井ヒサ（程島）



成績優秀な団体・個人には表彰状を贈呈

アンケート調査にご協力ください

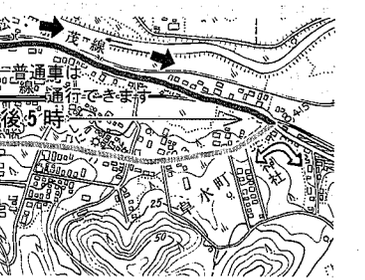
いま市では、市政へのより一層の市民参加と住みよいまちづくりを求めて、「アンケート調査」を行っています。この調査は、昭和五十年以来定期的に行っているもので、今回が七回目です。

回答をお願いした方は、市内の全有権者の中から無作為に選び出した一千人（男性五百人・女性五百人）の皆さんです。調査票が届いた方は、ぜひご協力ください。

この調査は、これからのまちづくりを進めるうえでの基礎資料となる質問も数多く含まれている重要なものです。しかし、回答してくださる方が少ないと集計結果の誤差が大きくなり、不正確なものになってしまいます。この調査は、正確な統計をとることだけが目的であって、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは決してありません。調査票が届いた方は八月五日（土）までにご回答くださるよう、重ねてお願いします。

草水都市下水路工事に伴う交通規制を緩和します―＊

草水都市下水路工事に伴う主要地方道新津村松線の普通車の終日一方通行規制が、8月5日（土）から、平日の午前8時30分～午後5時の一方通行に変更されます。また、規制の期間も9月30日（土）までに短縮されます。皆さんのご協力をお願いします。



お買物、ご用命は市内で

'89秋のご婚礼衣裳展ごあんない
8月5日(土)～6日(日)新津店
花嫁衣裳 伝 丸伝
新津店 本町1丁目☎(24)3355(代) 新潟店 古町九番町☎(228)5881

大特売 抜群の甘さ にいがた巻産
シャルマンすいか
夏はやっぱりつめた～く冷した
すいかが一番、地方発送承ります。
フレッシュでおいしい果物の店 やまいし 新津市本町3 TEL 23-0397

幕末明治夜話（最終回）

「広報にいつ」と私

阿達　義雄

拙稿の大団円

本稿の大団円として、適当な切れ目を考えてみたのであるが、今後の稿は間瀬みつの『戊辰後雑記』における会津南部往来が中心であって、新津・新潟や日本海とは全く縁のない記事ばかりである。

それで、今回は間瀬一族の奥州下りの圧巻となっていて、『会津若松史』の第五巻の中の印象的な箇所となっている一節を最後に紹介することにした。

＊　＊　＊

元会津藩の家族達には、十月に入り南部に出向するよう指示があった。これらの人々のすべては、戦乱により居宅・家財の殆んどを失い、一家の中心である男子を戦争と移動の過程で失った者や、生存していても、高田・東京に蟄慎の処置で家族から引き離されていたのである。

しかし、処分が解かれ、新天地斗南で生活できることになり、家族の人達は将来の夢をここに結んだのである。会津を発した百七十五人の一行のうち、間瀬家の道中を辿ってみよう。彼等は老幼男女手を組みながら奥羽路を北に向って出発した。道中は徒歩で、老人は駕籠が出ると思ったが、これは差し止めとなり、僅かに一家一人の歩夫がつけられたのみであった。

猪苗代・本宮・二本松・福島・仙台と比較的順路であったが、仙台より先はなかなかの難路で、殊に盛岡の先、沼宮内辺は風雪となり、一戸まで僅かに三里半であったが、途中に大きな山があり、一日行程は無理であったので、金を出して無理に馬を頼み、松明をかざし夜道を急ぎ、ようやく辿りつくことができた。

一戸から福岡を経て、金田一村で藩庁の役人に逢い、落着先が判明した。

遠く田名部・大畑に行く者、三戸付近に分散する者などに分かれ、それぞれ指示された農家に分宿することになった。

この間瀬家は縁者に上士層もあり、比較的路銀も持ちあわせていたようであるが、所持金不足の者には途中の旅籠賃などは藩発行の宿札を出し、後に藩がまとめて支払う仕組みであった。

当時、一宿十二銭五厘で、本宮・盛岡などでは粥をすすって宿泊したという。

こうして、移住がほぼ完了したのは、明治三年十月で、移住者数は約一万七千人余であった。

阿達　義雄（新潟大学名誉教授）

私が「広報にいつ」に最初の拙文を発表したのは、新潟大学定年の翌年の昭和四十七年四月のことであって、以来、今日迄約十三年間、御厄介になり、今や私も高齢と言われる八十三歳になって了った。

当初は郷土の広報であるから、読者や私の専門のことを考えて、江戸川柳の鑑賞や郷土史的な記事を中心として書いていたが、昭和六十年頃から「幕末明治夜話」の標題を掲げているうちに、新発田の久米幸太郎の四十一年目の敵討や、戊辰戦に破れた会津藩の家族が阿賀野川に下り、新潟港から下北半島に移住して、苦労する悲話になって了い、之は私が現地に行って調べたので、次第に記事が微に入り細にわたってきて、急に収容がつかなくなって了った。

私が「広報」に昭和五十五年頃、「会津鶴ヶ城の女達」を連載していた頃、会津の史学会から招かれて講演することになった。その演題は私の希望で、「新潟港から見た斗南移住集団」というので、当時、下北でも会津でも明治初期の新潟港の実体をよく知らないため、会津藩の下北移住について誤った見解を招いていた――それを是正しようとしての私の講演であった。

そのために私は明治三年の新潟税関の記録を綿密に調べてかかった。

この講演中、私がふと「にいつ広報」に目下「会津鶴ヶ城の女達」を連載中であることを話したのであったが、講演後、間もなく、若松市の歴史春秋社の社長が編集部の者と共に、わざ〳〵新潟の私の奉職校迄私を尋ねてきて、「広報」に連載中の「会津鶴ヶ城の女達」を一冊の本にしたいという意向を私に伝えた。

その後、広報の「会津鶴ヶ城の女達」は、少し附け足して刊行されたが、その機縁は全く「広報にいつ」にあった。

私は昭和五十八年に胸髄損傷のため、新大付属病院整形外科で手術をして貰ったのであるが、その後も下肢が不自由なので、車椅子で辛うじて家の中を移動するという有様であった。

その頃、新潟で印刷屋をしていた昔の教え子が、私に逢って頼みたいことがあるというので、話を聞いてみると、私が「広報にいつ」「川柳文芸」「蒲原」「新潟日報」等に発表した記事を何冊かにまとめて出版したいということであった。

当時、私は退院したばかりで、寝たり起きたり、車椅子に乗って、家の中を何とか移動していた時であったから、「今の処、そんな大仕事は、とても駄目だ」と断わると、「印刷する記事は、既に新津、新潟の図書館等で全部コピーしてあるから序文だけでも書いて欲しい」ということであった。「それならば簡単なことであるから」と、幾つかの序文を書いて渡したが、彼は、その後、私の書いたものを順次何冊かの本にして私の所へ持ってきた。

その本は『古今川柳散歩』『江戸川柳演習』、『会津藩士の越後流亡日誌』、『怪商スネルと戊辰新潟攻防戦』などである。

私は教え子の印刷屋のお蔭で、未だ車椅子で漸く家の中を移動している身障者の身で、二、三か月ばかりの間に数冊の本を出版することができたが、私はそれ等を出版する前に教え子の高橋君に「これからは印刷屋と出版社との二枚看板にするように」と、アドバイスをしたのであった。

【最後に、市民の皆様には、必ずしも興味本位でもない私の江戸川柳談や幕末夜話を永い間、御愛読下さいまして、本当に有難うございました。ここに厚く御礼を申し上げます。】

※幕末明治夜話は、今回で終了させていただきます。

お買物、ご用命は市内で

墓石　記念碑　石塀　建築石材
石材工事一式設計施工
墓石 川上石材店
墓石修理、補修、見積、設計等
御電話下されば御伺い致します
TEL 23-0387　新津市中沢町2－6

毎度ありがとうございます
☆営業ご案内
・O2＆AHAパーマで損傷毛にサヨナラ!!
※本町店・駅前店共に朝の1時間は電話予約制です。
◆公休日のご案内～年中火曜日のみ
渡辺美容院 ☎(22)0626
ヘアーステーション わたなべ駅前店 新津駅前通り ☎(22)2611